

「公的年金制度に関する世論調査」の概要

平成15年4月
内閣府政府広報室

- 調査対象 全国20歳以上の者5,000人
有効回収数3,578人(回収率71.6%)
調査期間 平成15年2月13日～2月23日
- 調査目的 公的年金制度に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目
- 1 老後の生活について
 - 2 公的年金制度について
 - 3 公的年金制度の改正について
 - 4 公的年金の給付と負担について
 - 5 パートタイマー等について
 - 6 第3号被保険者制度について
 - 7 年金制度の中での少子化対策について
- 調査実績
- 平成 5年 8月 公的年金制度に関する世論調査
平成10年 3月 公的年金制度に関する世論調査

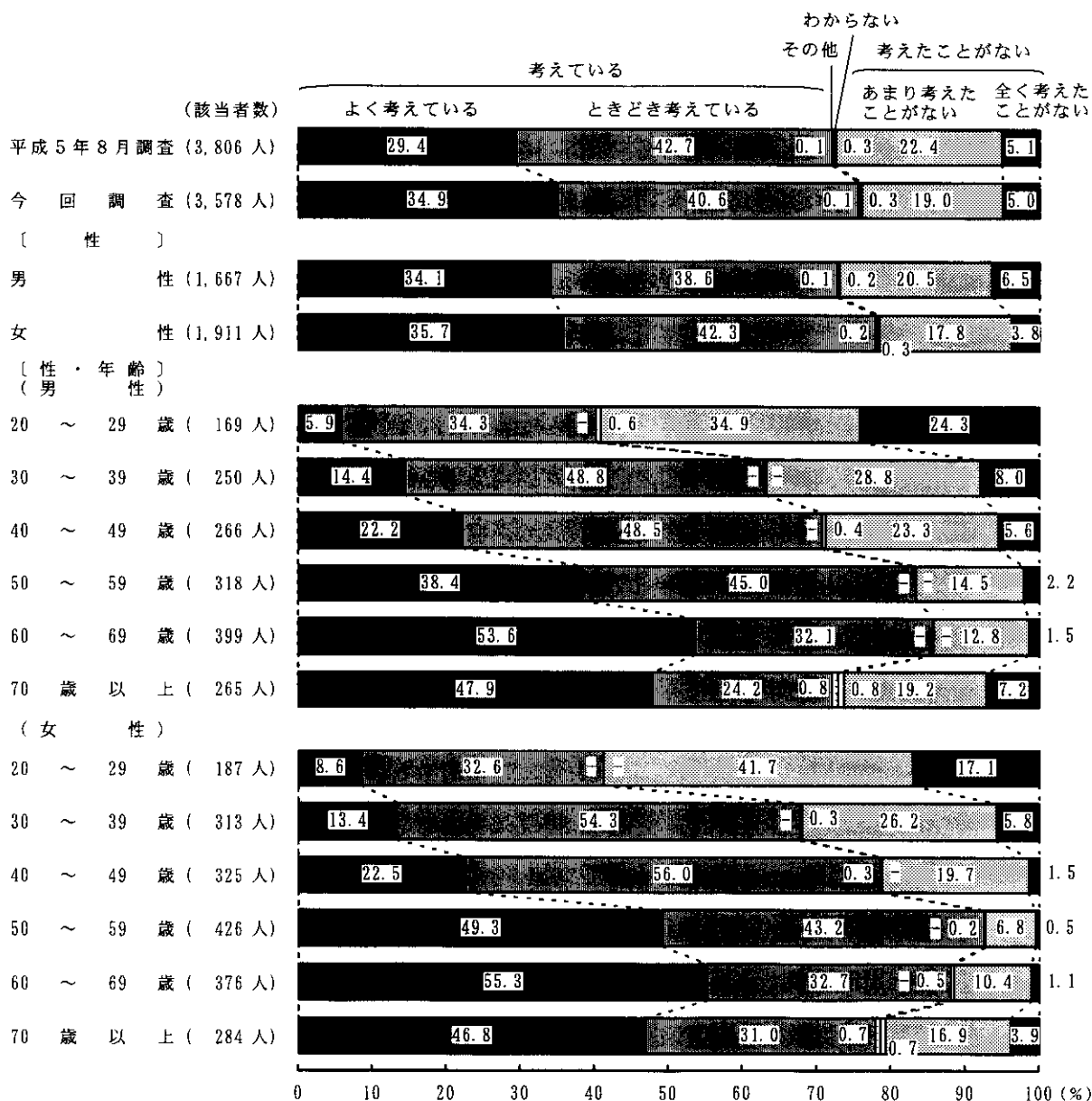
1 老後の生活について

(1) 老後の生活について考える頻度

自分の老後の生活について考えることがあるか

	平成5年8月	平成15年2月
・考えている	72.1%	75.5% (増)
よく考えている	29.4%	34.9% (増)
ときどき考えている	42.7%	40.6%
・考えたことがない	27.6%	24.1% (減)
あまり考えたことがない	22.4%	19.0% (減)
全く考えたことがない	5.1%	5.0%

図1 老後の生活について考える頻度

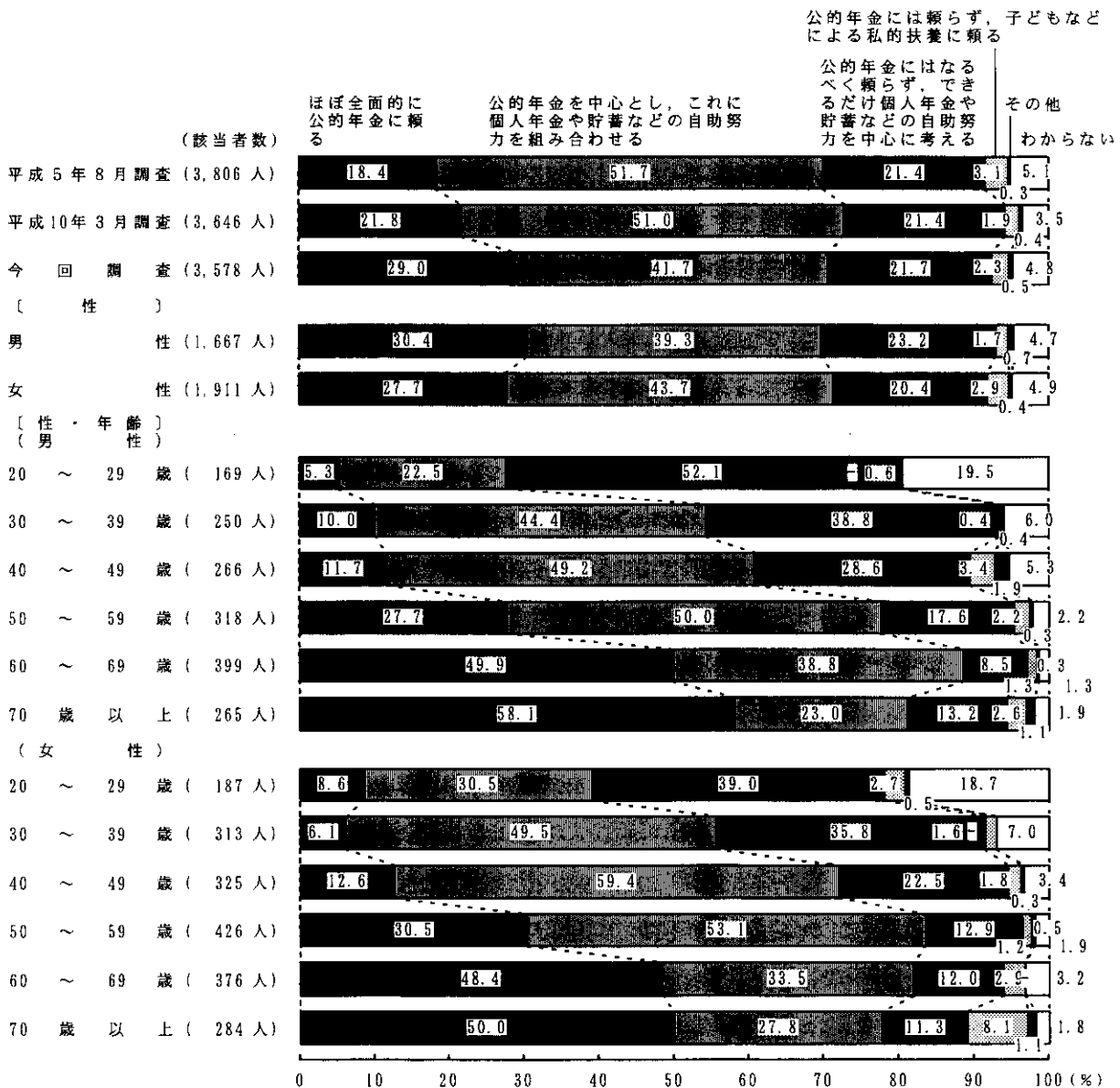


(2) 老後の生活設計の中での公的年金の位置付け

老後の生活設計の中で、公的年金をどのように位置づけているか

	平成10年3月	平成15年2月
・ほぼ全面的に公的年金に頼る	21.8%	29.0% (増)
・公的年金を中心とし、これに個人年金や貯蓄などの自助努力を組み合わせる	51.0%	41.7% (減)
・公的年金にはなるべく頼らず、できるだけ個人年金や貯蓄などの自助努力を中心に考える	21.4%	21.7%
・公的年金には頼らず、子どもなどによる私的扶養に頼る	1.9%	2.3%

図2 老後の生活設計の中での公的年金の位置付け

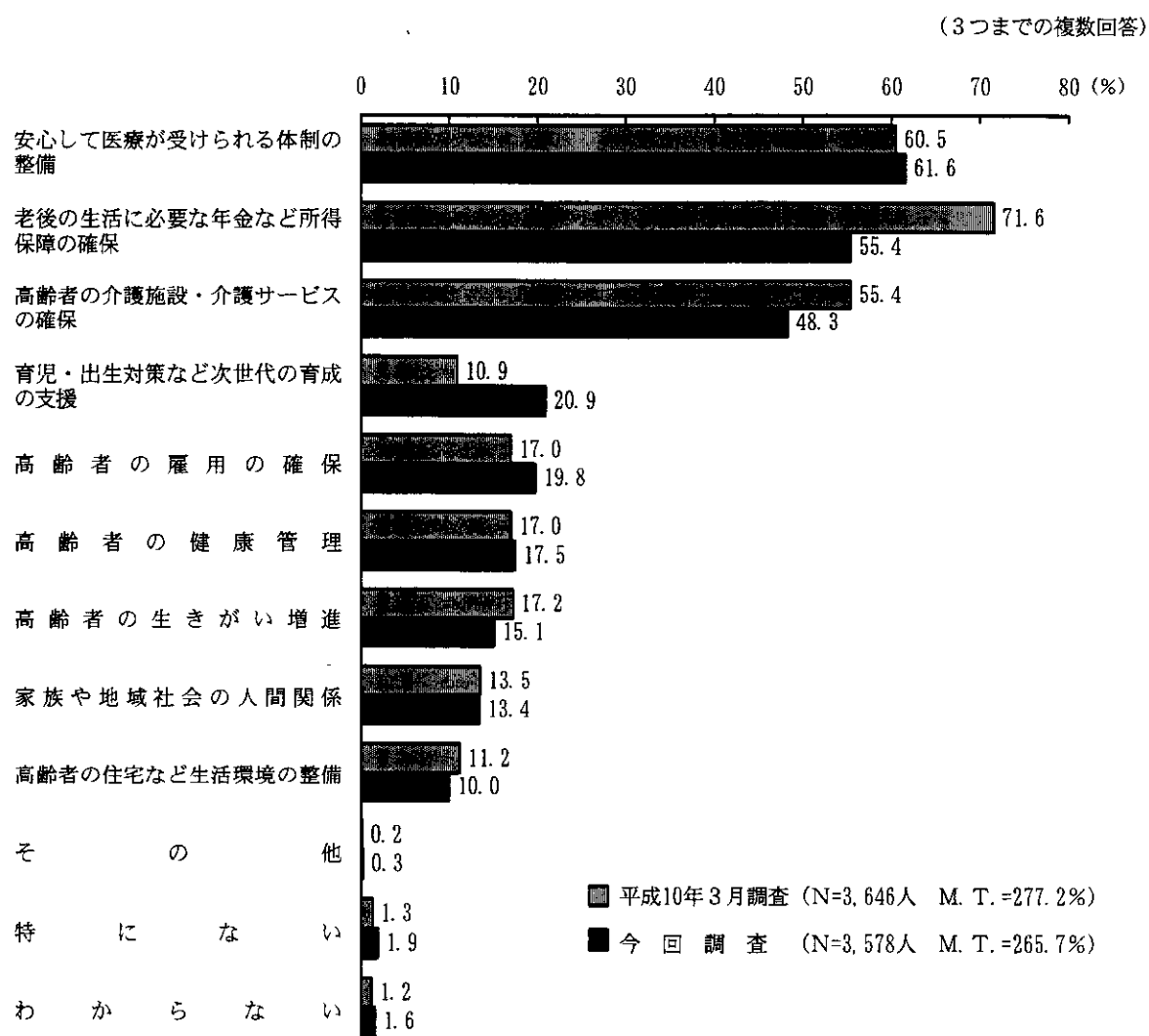


(3) 社会保障などの分野における最も重要な課題（3つまでの複数回答，上位5項目）

少子高齢社会への対応として，社会保障などの分野において，日本にとって最も重要な課題となるのはどのようなことだと思うか

	平成10年3月	平成15年2月
・安心して医療が受けられる体制の整備	60.5%	→ 61.6%
・老後の生活に必要な年金など所得保障の確保	71.6%	→ 55.4% (減)
・高齢者の介護施設・介護サービスの確保	55.4%	→ 48.3% (減)
・育児・出生対策など次世代の育成の支援	10.9%	→ 20.9% (増)
・高齢者の雇用の確保	17.0%	→ 19.8% (増)

図3 社会保障などの分野における最も重要な課題



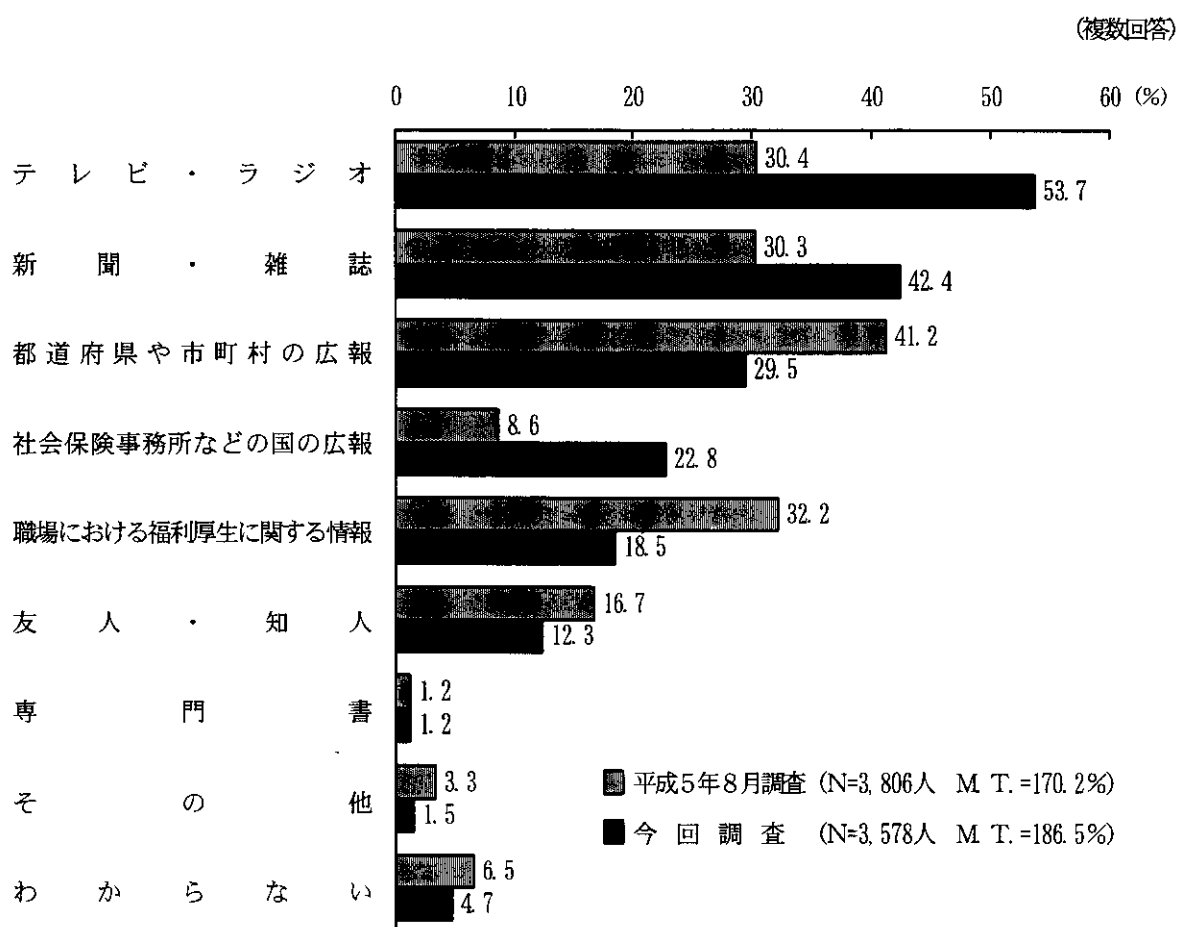
2 公的年金制度について

(1) 公的年金制度の情報源（複数回答，上位4項目）

自分が加入している公的年金制度について，どこから情報を得ているか

	平成5年8月	平成15年2月
・テレビ・ラジオ	30.4%	→ 53.7% (増)
・新聞・雑誌	30.3%	→ 42.4% (増)
・都道府県や市町村の広報	41.2%	→ 29.5% (減)
・社会保険事務所などの国の広報	8.6%	→ 22.8% (増)

図4 公的年金制度の情報源

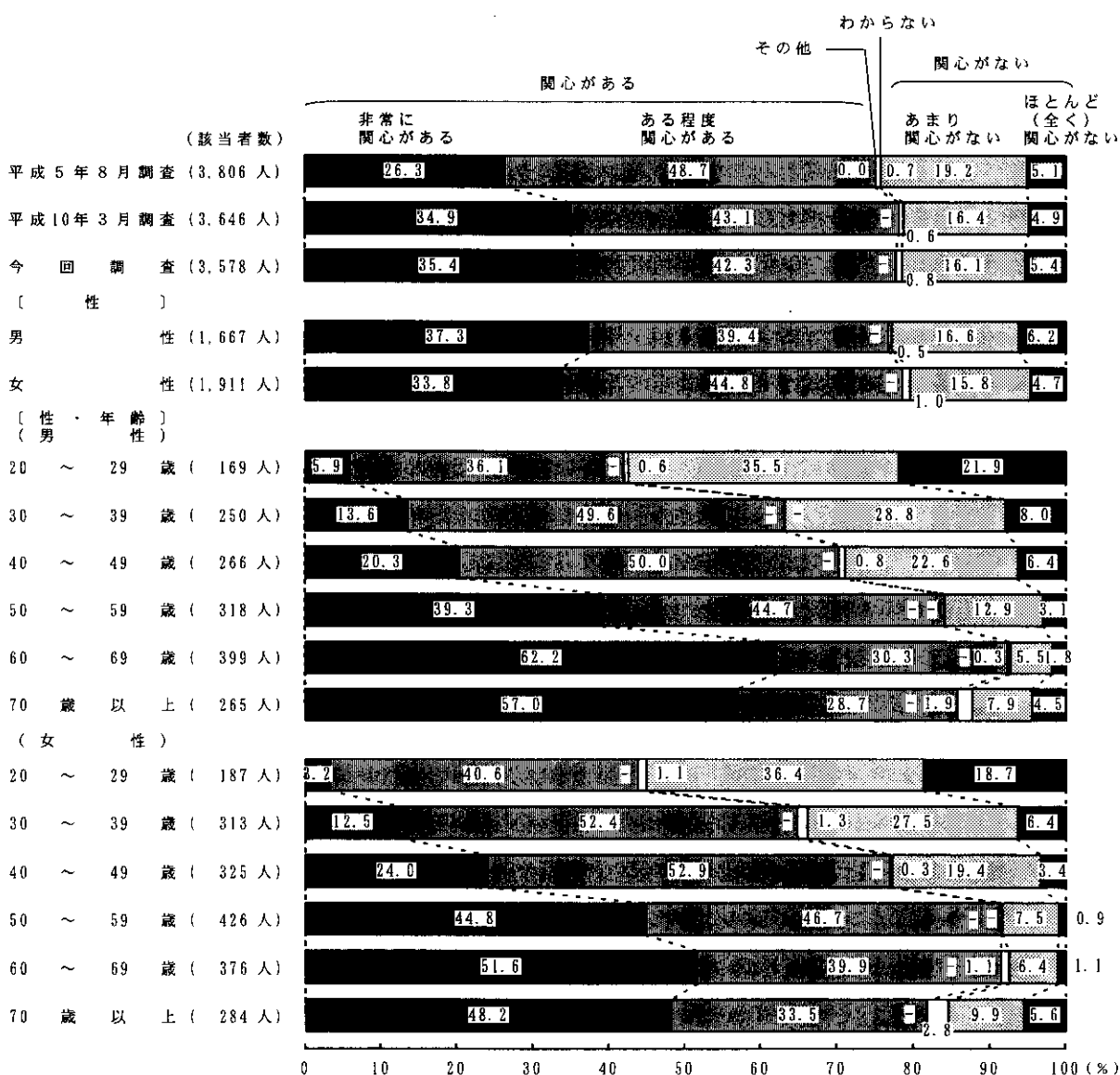


(2) 公的年金制度に対する関心

公的年金制度について、どの程度関心があるか

	平成10年3月	→	平成15年2月
・関心がある	78.1%		77.7%
非常に関心がある	34.9%		35.4%
ある程度関心がある	43.1%		42.3%
・関心がない	21.4%		21.5%
あまり関心がない	16.4%		16.1%
ほとんど(全く)関心がない	4.9%		5.4%

図5 公的年金制度に対する関心



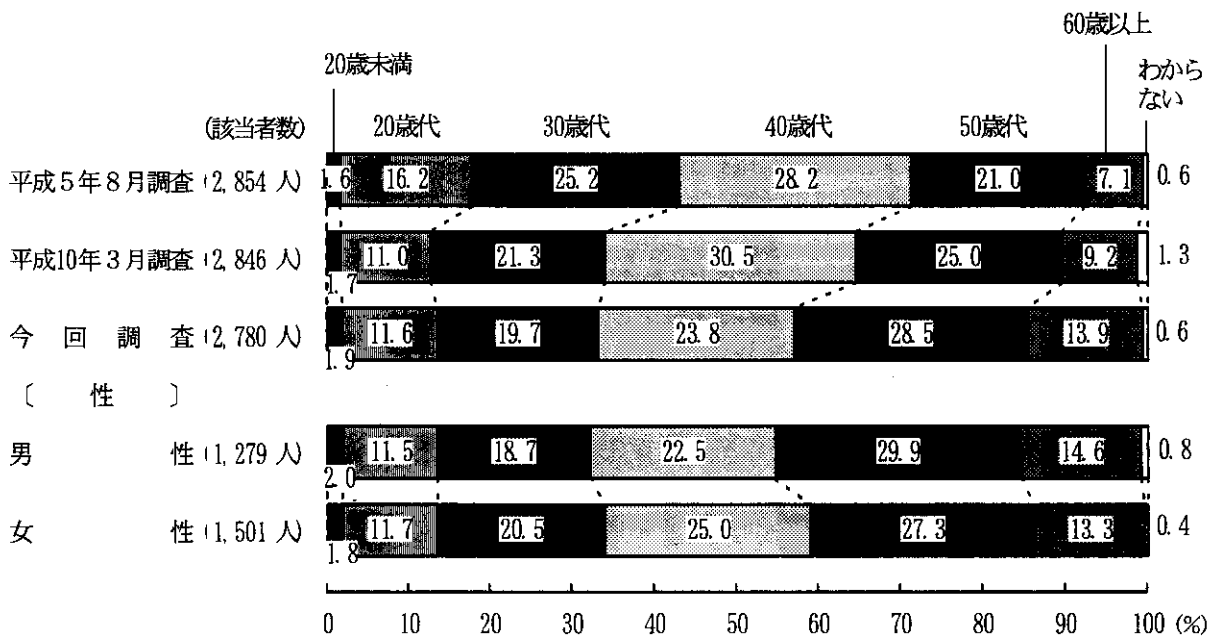
ア 公的年金制度に対する関心を持ち始めた時期

「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた者（2,780人）に、公的年金制度について、いつ頃から関心を持つようになったか

	平成10年3月	平成15年2月
・20歳未満	1.7%	→ 1.9%
・20歳代	11.0%	→ 11.6%
・30歳代	21.3%	→ 19.7%
・40歳代	30.5%	→ 23.8% (減)
・50歳代	25.0%	→ 28.5% (増)
・60歳以上	9.2%	→ 13.9% (増)

図6 公的年金制度に対する関心を持ち始めた時期

(「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた者に)



イ 公的年金制度に対する関心の内容（複数回答）

「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた者（2,780人）に、公的年金制度のどのようなことについて関心があるか

	平成10年3月	平成15年2月
・現在あるいは将来、自分が受け取る年金はどうなっているのか	70.0%	→ 67.3% (減)
・少子化、高齢化が進んでいく中で、将来の公的年金制度全体の姿はどのようなものになるのか	57.2%	→ 56.0%
・公的年金制度全体の年金の給付内容や保険料の負担の現状はどうなっているのか	35.9%	→ 37.7%
・自分が負担する又は負担した保険料はどのくらいか	27.4%	→ 31.0% (増)

図7 公的年金制度に対する関心の内容

（「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた者に、複数回答）

